

第1回八戸駅前広場整備基本計画検討委員会意見メモ (まとめ)

八戸駅東口駅前広場についての意見

バス乗降場について

概ね現状のままで良いと思うが、短時間駐車場が無くなるなら、そこをバスの待機スペースだけでなく、観光バス降車場にすることで、東口商店街の経済活性化に寄与するものと思う。

バスの進入路をユートリー側にし、交差点側の入り口を塞ぐ。

バス乗降場とタクシープールの場所を逆にするという案。
(お客様よりタクシー乗り場が遠すぎるという指摘がある為)
タクシープールがユートリーの近くになることによりユートリーの来客数が現在よりも増えることが予想される。

現在のバス待機場をタクシープールにした場合は、後ろに自家用車スペースを現在より広く設ける。(現在6台程度 2倍程度にする)

バス運行の視点からすると、バス乗り場への進入経路は自家用車と重複する区間があり、決して安全ではないように思う。短時間駐車場をどうするかにもよるが、共存するなら出入口を分けるなどの配慮が必要かと思う。

一般車とバスの入口が同じというのは危険だし、交通量の面で考えても一般車とバスは分けるべきだと思う。

ターミナルであれば、バス待合所(大きめ)が必要(屋内型)。サイネージも必要。

バス券売場はバス停近く(ユートリー内等)が良い。
バス案内図があると良い(ユートリー近く)

待合場所としてユートリーが紹介されて、バスの出発時間が近くなったらアナウンスが流れてもいいのでは。

一般車両と同じ出入口は危険。

平成27年3月にかつて市が策定した「八戸駅前広場整備基本計画」のP12～14にあるとおり、バス乗り場の統一表示、バリアフリー化を進められないか。バスの動線に関しては特段現状から変える必要はないのではないか。(バリアフリー化は駅全体の話だが)

発着所は変更しないにせよ、出入口は信号交差点から避けるべき。

タクシー乗降場について

タクシー乗降場とバス乗降場と一緒に（駅に向かって左側）してはどうか。

一般車両が入場できないようにしたほうが安全かと思います。

また、タクシー乗降場は、車イス利用者なども乗りやすいようフラットな場所で乗降できるようなスペースが必要だと思います。

現タクシープールは、コロナ禍に限らず常時待機台数は少ないため、広すぎると感じる。以下記述の通り、自家用車の降車スペース、短時間駐車場等に利用すべき。

現在のタクシープールは課題傾向とあるが、具体的に56台の待機場を具体的に何台減らすのが妥当か事前に検討が必要だと思います。

協会会員の声として、駅前市の土地であるが、タクシーを減らすことで「JRマーク」駅構内営業料を減らすことになる。

（1台で半年で3,960円、1年で7,920円）待機車両を減らすことに対してJRはどう思うか。

とにかく現在のタクシー乗降場所は、階段を降りて来てから遠い。駅から出て来てタクシーにすぐ乗車できるように、この機会に現在の降車場所を「乗車場所」に変更することを検討すべきだと思う。

現在の利用状況をしっかり把握したうえで、変更（縮小）についての検討を行うことがよいと思う。

タクシーの出口が狭く、一般車両の出入りもあり混雑し歩行者が危険である。

先頭のタクシーの位置が遠いので、雨や荷物がたくさんある時は手前から乗ることがある。

コロナ前には何時台に何台出発していたのか、過剰供給の可能性があるのでまず何台が必要なのか事実ベースで確認すべき。

縮小する方向がよい。コロナ以前でも空きスペースがあったように感じる。

タクシープール広すぎ。

規模を半分にし、現在バスプール内にある自家用車用短時間駐車場を移設してはどうか。

利用者の需要に見合った台数程度の場所（スペース）があれば良い。
また、バリアフリースペースも確保。

自家用車降車場について

自家用車乗降場と短時間駐車場を一緒の場所に（駅に向かって右側）してはどうか。

現在のタクシールールを狭くするのであれば、自家用車降車場はもう少し広く出来ると思うので、西口のようなフラップ式の短時間駐車場兼降車場にすることは可能ではないか？

スペースが狭いためか流れが悪い。（出迎えのため駐車している人もいるよう）

駅から離れるが、宝くじ売り場側を降車スペースに活用することも良いのでは。

平成5年5月の頃に戻し、タクシールールを適正台数にして自家用車降車場を横に設け、台数は10台程度にする。但し長時間の停車ができないようなシステムにする。（制限時間が過ぎたら料金が発生するとか）

自家用車スペース案 のようにする案とか。

会員の意見ですが、停めてトランクから荷物を出していたら、「早く出て行け！」と文句を言われたことがある。ゆっくり余裕をもって降車したい。

限られたスペースであるので、混み合う時は利用しづらいと思う。市道への流出の際は特に注意が必要かと感じる。こちらも利用状況の把握が必要かと思う。

タクシールール側に設置するのは賛成だが、出入り口の安全面を考慮する必要がある。

わざわざ設けなくていいのではないかと思う。100円でも駐車料金を得られるような仕組みに変えるべきと思う。

場所が分かりづらい。

数が少ない。（5～6台でいっぱい）

自家用車の駐車場・乗降場は東口・西口の分担ではなく、全て西口にするくらい大胆でもいいんじゃないか（誤って東口に来た人の西口への導線は課題だけど、ちゃんと周知された上で最初から西口に向かうのであればそんなに不便ではないような。）

確かに分かりづらい、利用しづらい、また安全性に欠けると思います。改善が必要だと思います。

バスプール内にある自家用車用駐車場は廃止し、タクシー乗り場側に自家用車降車場・駐車場を設置しなすべき。理由：「八戸駅前広場整備基本計画」にあるとおり、現駐車場は入庫場所が分かりづらく、道路にまで車が並ぶことがあり危険である。また、バスの入り口が入庫

場所に交錯するため危険である。(かつての計画内にも「バスと自家用車及びタクシーの動線が重なり、錯綜している他、東口は自家用車乗降場と短時間駐車場の出入り口が異なるなど、わかりにくい導線が課題」と記載あり)

バスプール内の現駐車場のスペースは、市営・南部バスに加え、大型観光バスの待機場所として活用するとよいのではないか。(大型観光バスを止められるようにすることで、ユートリーでの大規模MICE(セミナー・イベント等)を開催する際、多数の参加者を大型バスで中心市街地、八食センター、種差海岸等の観光スポットへ輸送することが可能となり、MICE誘致の商談会等でも良いアピール材料となる。)

利用者の需要が多いのであれば、場所(スペース)を確保すべき。

短時間駐車場について

ユートリー駐車場を30分無料の短時間駐車場として利用することは可能か?

可能だとした場合、料金精算システム変更などにかかる時間と金の問題、八戸市駐車場条例料金とユートリー駐車場料金を合わせる条例等の問題もある一方、現在の短時間駐車場委託料の減少は見込めるのではないか。

入口がわかりにくい。現在進入禁止としているユートリー側に入口を変えることで、交差点の渋滞も少し緩和されるのではないか。

短時間駐車場をなくして、八戸駅東口駅前広場整備計画案にする。(バス待機場)

ユートリー駐車場(418台可能)の中に、可能であれば30分以内無料駐車場を設ける。現在16台で少ないという意見であれば30台に増やせば短時間駐車場前の渋滞は起こらなくなる。

レイアウトが悪い感じがする。

駐車場待機者が道路にはみ出すようであれば、駐車場入口に待機は2台までの目立つ看板を設置する。

やはりバスと重複する区間があるのは危険である。共存するなら出入口を分けるなどの配慮が必要かと思う。

タクシープール側に設置するのは賛成だが、出入り口の安全面を考慮する必要がある。

駐車場利用時の無料券がもらえる場所を明示して欲しい。

利用台数を増やしてほしい。(現在12台くらい)

無料の時間をもっと大きく見えるように。

現在のバス入口と一緒に分けるべきだが、そもそも無料である必要があるのか。駅が一番近いところが30分でも無料というのは、合理的に考えておかしい。

道路にはみ出てならぶので危険。交差点の右折時のタイミングが危険。バスの入口も同じで、バスが入れなくクラクションを長く鳴らされることもありトラブルの元。

場所をタクシー待機場所へ移設してはどうか。

ユートリーにも協力を得て、立体駐車場も時間制限で無料にする。
移動時間を考慮し、30分を1時間無料にすることで広場への送迎車も減るものと思う。

広場、歩行空間等について

駅を出てからが少し寂しいような気がするので、移動販売車の設置場所づくり、募集したり。
また、イカ頭巾などキャラクターなど、写真映えしそうなもの設置してはどうか。
観光案内掲示板などもどうでしょうか。

バスを待っている人達の為、ユートリー1階のスペースをバスターミナル又は待合所的な活用はできないだろうか？
例えば、はっちに設置している「バス接近表示機(バスナビエイト)」のような案内が出来れば、ユートリーの1階売場の売上にも寄与するのではないかと考えます。

景観：駅東口は八戸の顔ですので市の「シンボル」を活用する。
八戸市民の花「菊」、木「欒」、鳥「ウミネコ」、魚「烏賊」
八戸市のマスコットキャラクターの『いかずきんズ』や『ウミネコ』、『食用菊』などのモニユメント等を適所にバランスよく設置したり、『欒』おんこの木を中途半端ではなく統一して現在は『ツツジ』の箇所は垣根やフラワーポット部分も変え、賑わい創出させ田舎ではあるが八戸の玄関口に相応しい『粋な空間』にしたい。

欒の盆栽のコーナーを造る。

欒は周囲を浄化し幸福をもたらすパワーがあると言われ若々しい葉を一年中保つ常緑針葉樹で成長が遅い分、寿命が長く寒さにも積雪にも強く折れにくい御神木とされ最高級の木としても有名で樹形は端正で垣根でも整えやすい。

駅からエスカレーターを降りて来た正面に石で出来た椅子があります。以前、白杖を持った方がエスカレーターで降りて来て、この石の椅子に気付かないでぶつかり頭から転倒したのを目撃しました。目の悪い方だけでなく転倒したのを数回見ている。一緒に目撃した人は、「あの場所に椅子が必要なの?」と言ったことを記憶している。目が不自由でなくても黒っぽく見えにくいし、いつも通るたびに移動してほしいと思っている。

噴水周りに人が集まるようにできないか。(にぎわいの創出)

他の委員の方の意見にもあがっていたが、バリアフリー対応は早急に望まれるのではないかと。バス、タクシーともお客様が雨・風よけの風除室(待合スペース)みたいなものがあればと思う。

バリアフリー化とイベントがおこなえる様なスペースが欲しい。

東口周辺の飲食店、スーパー等の情報が分かる地図があると「新幹線を降りたら何も無い」と困ってしまう方には助かると思います。観光でいらっしゃる方へ、スーパーやドラッグストアでちょっとした買出しをするということでもよく案内をします。営業時間や休みの日もついていると親切だと思います。

広場は空間でしかないの、利活用(キッチンカー、テーブルやいすなどを並べた軽食提供の有料のスペース)を考えるべき

夜が暗い。

シンボルツリーの圧迫感気になる

フラッグ等を掲出するなど、旅行に来た時のワクワク感が欲しい。

ホテルメッツの1階部分(現在図書館)の隣のスペースが長い間空き家状況となっているため、コワーキングスペース等にできないか。八戸駅東口は多くのビジネスマンが利用しているため、首都圏にあるようなおしゃれなコワーキングスペースにすることができれば利用されるのではないかと。高額な賃料が課題であれば少し安くできないか。

車両が進入しない安全な形状にし、通路(車両)においても、歩行者の横断がないようにする。(現在横断歩道あり)

その他

障害者乗降スペースは、エレベーター近くに2から3台分確保が望ましいと思う。
屋根付きであれば尚良いと思う。

駅前の市道が駅前T字路で変形している。

上長公民館側（市道八戸駅前通線）から一日市方面（市道一番町矢沢線）へ直進する時、駅前T字路で少し左に進路変更が必要なため、交通事故の危険性がある状態を解消すべきと思う。

現在この道路（市道一番町矢沢線）に面して設置されているバス待機場脇の歩道は、待機場を中央（現短時間駐車場）に設置することで不要となるとすれば、歩道分を車道として拡幅しこの進路変更を解消できるのではないか？
最後に、西口駅前含め一体的な八戸駅前広場全体の活性化に対する地元の活動を期待したい。

短時間駐車場を存置し、駅前交差点の渋滞緩和を考慮。

駅前広場利用者の安全や利便性を考慮した場合、バス、タクシー、自家用車乗降場、駐車場の設備が本当に必要か精査することも必要。

東口は街を象徴しますのでバリアフリー化を進めたり、身体障がい者の乗降場所を適所に設ける。

案内、誘導等は統一デザインにする。

バス停が色あせている。

バス停標柱の根元腐食の可能性あり。立て替えや補強が必要。

市営、南部の共通した出発案内（バスロケ）があれば良い。

第1回検討委員会でも述べたとおり、タクシープール側の横断歩道への信号の設置、裏道の消えかかった白線の修復等、住民の安全面を考慮した計画を進めてほしい。

観光バスについては、現在降車（1台）しかできないことから、乗車、降車、待機スペースの確保をお願いしたい。ルートによっては、東口の方が都合の良い場合もあり、問い合わせもある。

落とし物を預かった時の対応連携。

モデルとしたい他の県の自治体の駅を積極的に探し回って参考にしてほしい。（青森市の駅前が良いと思う）

バスプール、タクシープール、自家用車降車場を厳格にブロック化する。(区画をはっきりと)

駅前には何もないので新幹線の待ち時間にお茶などする所も少ない。空き店舗をなくしてもっと活気のある駅前にしてほしい。

1時間だけ時間がある方が駅で時間をつぶすのに苦労している声は以前からあります。ユートリーがありますが、八食でお土産を買ってきた方にはおすすめしづらいのが現状です。

みくら側(元小山せんべいや駅前横丁?の跡地)にはコンビニや飲食店などが駅前活性化のためにテナント誘致が必要だと思いますが、このコロナ禍の経済状況下だとなかなか難しいものと推測します。施設管理側(JR東日本東北総合サービス?)との協議も必要だが、空店舗にしておくなら、待合室やコワーキングスペースなどに見てはどうか。

駅待合室(改札外)は現状、ぐるっと遊店の中にしかなく需要はあると思われる。

特に冬場は駅コンコースも寒いので、暖を取りたい方はいると思う。

「八戸駅前広場整備基本計画」のP7~10に駅前広場の将来像がまとめられているが、より具体的にWhy、What、Howを掘り下げ、目指す駅前広場の“将来の状態”明記する必要がある。当時、整備コンセプトを「地域・来訪者・自然が身近で、共生する八戸の顔づくり」と作成し、続いて1便利でやさしい<えきまえ>、2賑わい・集う<えきまえ>、3美しく誇れる<えきまえ>と整理されているが、それぞれのターゲットや具体的な戦略が不明瞭と感じる。

バス、タクシー、一般車両ともに信号交差点付近での出入口は、安全と円滑からも設けない方が良い。